

健康で安心して暮らしていただけるふれあい・支えあいのまちづくり



項目	事業計画	25年度			26年度												実施後の状況	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	地域包括ケア連絡協議会(仮称)・WGの開催		事業設計	関係機関調整		地域包括ケア連絡協議会(1回)	テーマ別WG	テーマ別WG		テーマ別WG	地域包括ケア連絡協議会(2回)	テーマ別WG		テーマ別WG	テーマ別WG	地域包括ケア連絡協議会(3回)	<p>・地域包括ケア連絡協議会(仮称)・WGを中心に医療・福祉関係職種が、豊明市の在宅医療連携における課題、今後10年間で取り組むべき方向性、施策について、共有認識を持つことができる。また、それぞれの役割が認識できる。</p> <p>・『顔の見える関係』が深化し、日常業務の中での個別事例支援に関する連携が増加する。</p>	
	豊明市ケアマネージャー連絡会の開催	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会	ケアマネ連絡会	運営委員会		
	地域包括支援センター連絡会の開催	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会	連絡会		連絡会
	先進地視察(千葉県柏市及び東京都杉並区)			先進地視察														
2	在宅医療・福祉に関する市民・関係機関ニーズ調査の実施	ニーズ調査	ニーズ調査回収・集計	ニーズ調査結果分析	関係機関ヒアリング調査												<p>・在宅医療・福祉に関する住民・関係機関ニーズが明確になり、地域包括ケア連絡協議会(仮称)等により課題の共有と解決策の明確化が図られる。</p> <p>・ICTネットワークと見守り用センサー付機器を活用した高齢者安否確認・異常早期発見事業の実施により、異常の早期発見・早期治療ができ、予後の改善が図られる。</p> <p>・24時間定期巡回・随時対応サービスの実施による夜間支援体制の強化。</p> <p>・医師・歯科医師等がボランティア的に在宅対応していることによる負担の軽減。</p>	
	在宅医療従事者の負担軽減の支援	事業設計	システム導入	関係機関調整	企画・準備	事業開始												
	(1) 地域の医療・福祉資源の量・質の把握、資源の有効活用や不足資源の確保のための具体的な方策の実施		事業所との調整		サービスの関係機関・市民周知													
	(2) 24時間対応の在宅医療提供体制の構築		事業設計		関係機関調整	事業開始												
3	在宅医療支援事業の実施		事業設計		関係機関調整		事業開始										<p>・チーム支援体制の推進、地域課題の抽出</p> <p>※継続的推進</p>	
	効率的で質の高い医療提供のための多職種連携																	

健康で安心して暮らしてつづけることのできるふれあい・支えあいのまちづくり

3	効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業の実施	プログラム検討会	研修会① 研修会②	研修会③ プログラム検討会	事業設計	関係機関調整	プログラム検討会の開催 人材育成研修会の開催 地域評価											・地域包括支援センターを中心とした地域ケア会議(ケアカンファレンス)の開催増加と医療関係職の参加の増加。					
	(1) 訪問支援の実施、多職種連携によるケアカンファレンスの開催	ICTネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」の普及と活用	※愛知県モデル事業委																・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業により、医療・福祉関係職相互の役割理解、豊明市の課題等への理解が深まり、スキルアップとともに連携が深化。					
	(2) チーム医療を提供するための情報共有ツールの活用		※藤田保健衛生大学中核センター委																					
(3) 在宅医療に従事する人材育成	いきいき笑顔連絡協議会		運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会	運営委員会	いきいき笑顔連絡協議会		・ICTネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」の登録機関の増加と活用活性化により、医療・福祉関係職相互の役割理解と連携がすすむ。また、重複診療や薬剤の重複投与も防止される。				
4	入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み	緊急レスパイトサービス事業の実施		事業設計		関係機関調整		事業開始		市民・関係機関周知									・緊急レスパイトサービス事業の実施により在宅療養者や家族に急を要する事態発生時の負担の軽減が図られる。					
	(1) 在宅療養者の症状急変時における入院病床確保のための後方支援病院の確保	藤田保健衛生大学病院との後方支援体制に関する協議	関係機関調整		退院連携連絡会(初回)		退院連携連絡会		退院連携連絡会		退院連携連絡会		退院連携連絡会		退院連携連絡会		退院連携連絡会	退院連携連絡会	・藤田保健衛生大学病院との後方支援体制について、方向性の明確化。					
5	在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	いきいき笑顔ネットワークポータルサイトによる市民への地域啓発	※継続的推進																					
	(1) 地域での在宅医療を浸透させるためのフォーラムや講演会等の開催	地域包括ケアシンポジウムの開催	企画・準備	地域包括ケアシンポジウム開催		市民が主体的に地域の課題を考える機会の提供・啓発																企画・準備	地域包括ケアシンポジウム開催	・いきいき笑顔ネットワークの取り組みが市民に広く浸透。
	(2) 住民向けの地域の医療・福祉資源マップやパンフレット等の発行	市広報誌への特集記事掲載	いきいき笑顔の特集記事掲載			企画・準備	在宅医療連携特集記事①掲載	在宅医療連携特集記事②掲載	在宅医療連携特集記事③掲載	在宅医療連携特集記事④掲載									・在宅医療・福祉に関する住民の理解が向上し、地域での自助・互助意識が向上する。					
		市民向け地域の医療・福祉資源リーフレットの作成				市民ニーズの把握		企画・準備		関係機関調整	印刷事務準備	発行	市民・関係機関周知					・医療・福祉に関する市民向けに分かりやすい医療・福祉資源情報が提供される。						